

広報 おおづ

6
JUNE 2024

勇ましく、武者行列

大津つつじ祭り開催

Public relations
OZU TOWN

広報 おおづ 2024 6

発行・編集 大津町・総合政策課
〒869-11292 熊本県菊池郡大津町大字大津123番地
TEL.096(293)3118 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>

印刷 印刷株式会社
〒869-11292 熊本県菊池郡大津町大字大津123番地
TEL.096(293)3118 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>



見やすく読みやすい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



公民館講座英会話クラス(室公民館)
英会話クラスは初級、中級、中上級、上級の4レベルに分かれている。
英文法の基本的な概念から海外旅行でよく使用する単語まで、クラスごとに授業内容はさまざま。

clozu-up
Ozu-jin
クローズアップ 大津人

コロナを
乗り越え、
さらなる国際の
架け橋に

オースティン・ハインラインさん(室)

国際交流員として、アメリカ合衆国カンザス州ウィチタ市から大津町に來日した、オースティンさん。コロナ禍でこれまでと違う状況の中、国際交流に力を注いできました。今年7月で任期を満了し、アメリカに帰国します。これまでの活動やオースティンさんの思いについてクローズアップしました。

国際交流員としてウィチタ市から大津町に來たのは2020年11月、コロナ禍の真っただ中だった。「來日当初はコロナの影響でプロジェクトを進めることが難しく、少しだけ寂しい思いをしたこともありましたが、大学では明治時代の学校の規則について発表するほど、もともと日本にとっても興味がありました。大津町では目に入るものが全てが新鮮で、やりたいこともたくさんあったので、あまりマイナスな感情はありませんでした。」

コロナ禍でもできる国際交流を模索し、ヘイスティングズ市の学生と町の小学生との間で手紙での交流を行うほか、コミュニケーションボードや外国人向けガイドブックを作成するなど、さまざまな活動に取り組んだ。その後コロナによる行動制限が解除されたところで、公民館講座や英会話サロン、ホームステイプログラムの補助、コミュニティ作りなど、さらに活動の幅を増やしていった。

国際交流員として仕事をするうえで、大切にしていることを聞いた。「常に相手をリスpekトする気持ちを持つことです。その気持ちで相手を理解しようとする行動につながります。日本でも過ごす時間もあつたのか。毎週火曜日は外国人相談窓口にいるオースティンさんへぜひ会いに来てほしい。」

つつじの声

今回、入庁して初めて取材をしました。取材のテーマは「手話」。ろう者や手話通訳者など、3人の方にお話を伺いました。

たくさん質問をさせていただきましたが、中には答えにくい質問もあつたかと思ひます。しかし、どんな質問でも快く答えてくれるその姿勢に、手話をもつと広めたい、聴覚障がいについてもっと知ってほしい。そんな思いの強さを感じました。やはり信念を持って活動されている人は生き生きとしていると感じます。そんな人たちの思いを、この広報紙を通じて、より多くの人たちに伝えたいと思います。

(M.S)